

悩ましき「お兄系の角」

たしかに正しくはなからう。品をうかがわせる。

がいいとは決して言えまい。だが、どうせなら「ごん楽」しもう、というクレジーぶりに魅了された。今年のメンズ浴衣、より艶麗を限るならば「お兄系」浴衣に。

ワイルドでありながら女ウケを意識したホスト風セクシーさをめ

ざす(と見える)お兄系路線の浴衣は、ヒョウ柄やキスマーク柄(ぶちゅく柄と呼ぶらしい)、帯も極太ベルトと見まがう光り物使いやらメタリックなパイソン柄やら。とはいえ仕立ては手縫いであったり、シルエットを細身にする工夫があったりと、お兄系の「派手」けど、安っぽくない本格派「志向

をうかがわせる。

そんな浴衣を選びそうな男子は、お兄系の聖地、たとえば渋谷

109②5階でお目にかかれる。昼間から夜のクラブのような雰囲気

のフロアには、細身の体形を強調する官能カジュアルと呼びたい

ジーンズやトップスがずらり。店員や買い物客の多くは、「束

感」を生かした長めの髪を、襟足

や額にたらしめている。せっかくの顔を前髪で隠しちゃう、女性ウケ

もよくないのでは? 1人が長い髪をいじりながらこんな説明をして

くれる。「これはカブトムシの角みたいなもんっすから」カブトムシの角!? 昆虫図鑑の

中野香織の——コロモのココロ——

類によれば、「メスや餌場をめぐるオス同士の威嚇の武器」あるいは「同種内での地位の確認」が角の役割という。なるほど、うまい例えだ……と感心しかけたところ、お兄系バイブルの二つ、「メンズエッグ」誌7月号を開いてあんぐり。長い髪を束ねて整髪料で角状に整え、「食パンぶっ刺し対決」をするヘア自慢の男子たちがいる。ほ、ほんとうに角になるのですね。

ほめると若者にこびた場違い女になりそうだし、深読みをすれば肩すかし。しかし選べる道はほめるか深読みか。そんな板ばさみを英語では「シレンマの角にかかるとon the horns of a dilemma」と表現するのだった。悩ましきお兄系の角。(服飾史家)